

# 令和8年度 河内長野市教育推進プラン

令和8年4月  
河内長野市教育委員会

# 河内長野市教育大綱

対象期間：令和8年度～令和12年度

基本理念

誰一人取り残さない「子どもまんなか教育」の実現

## 4つのビジョン

I. 地域がまるごと、  
学校（学びの場）。

II. 学びを、  
誰かの喜びに。

III. “ここにしかない”  
時間を求めて。

IV. 地産地消で、  
日本一の給食カレーを。

# 河内長野市教育推進プラン

教育の目標

誰一人取り残さない「社会の創り手」を育てる教育

## 8つのAction

対象期間：令和8年度～令和12年度

## 実施する施策（取組み）の概要

1. 誰もが安全・安心に学べる  
学校の環境整備

- ・安全に安心して学校生活を送ることのできる施設整備
- ・様々な教育課題に対応できる学校のあり方の研究
- ・地元産食材を使用した安心安全な学校給食の提供

2. 「様々な他者との協力的な学び」と  
「多様性を包摂する教育活動」の推進

- ・すべての子どもの人権と権利が保障された学校教育活動の推進
- ・学級、学年、学校の枠を超えたReal & Remote教育の推進
- ・不登校、日本語指導、特異な才能のある子ども等への対応

3. 就学前の学びから学校での学びが  
一つにつながる教育

- ・かけ橋プログラムに基づく教育実践
- ・「めざす子ども像」を共有した小中一貫教育の推進
- ・中学校区合同での取組み推進と小中一貫教育推進校の実践の普及

4. 「自分で考え、自分で決める」  
「自分の好きを見つけて探究する」  
学校教育の推進

- ・子どもが自己決定しながら学ぶ授業への転換
- ・「伴走者」の意識を持った教員の育成
- ・教科学習における探究的な学びの推進
- ・一人ひとりの「好き」を課題にした探究活動
- ・ICT機器の有効活用学習の個性化、個別化の推進

5. 「子どもの育ちを支える」家庭・地域の  
教育力の向上

- ・子どもの学びが広がる体験活動の充実
- ・学校運営協議会による学校教育活動への支援充実
- ・持続可能な社会教育関係団体の活動推進と在り方の検討
- ・地域の子どもと大人をつなげ相互に学び育む関係の構築推進

6. 「学び」が広がり  
「好き」が見つかる学びの場の提供

- ・地域課題の解決や自身の学びを地域に還元する意欲ある人材の育成
- ・大人の「好き」が見つかる講座内容の充実
- ・小学校と公民館の複合化による効果を最大化する取組みの推進

7. 「市民が集い・学ぶ」図書館運営の充実

- ・市民がRealに集う空間の創出
- ・多様な市民に対応した課題解決に役立つ資料の充実
- ・市民がRemoteでアクセスする空間の創出
- ・図書館サービスを市民の居場所に届けるアウトリーチ活動の推進

8. 多様な人々が関わり合いながら  
学び・伝え・活かす歴史文化遺産

- ・調査・研究による魅力あるコンテンツ作り
- ・保存・継承とこれからの担う人づくりの強化
- ・各部署の施策と融合した活用の推進

# 河内長野市 教育推進プランとは

教育推進プランとは、河内長野市教育大綱に定められた「基本理念」及び4つのビジョンをもとに教育の目標と8つのActionを策定し、毎年度の主な施策（取組み）を示すものです。

教育推進プランの計画期間は1年間です。

計画的かつ効果的に取組みを進めるため、毎年「河内長野市の教育の現状」（自己点検評価）を作成し、各施策の実施状況を十分に分析し、成果と課題について点検評価を行うとともに、施策の取組み内容の見直しを重ねながら効果的な教育の実現をめざします。

## 教育大綱 基本理念

誰一人取り残さない「こどもまんなか教育」の実現



4つのビジョン

## 教育の目標

誰一人取り残さない「社会の創り手」を育てる教育

8つのAction

毎年度の  
主な施策（取組み）

自己点検評価

教育大綱の理念と、教育の目標。

## 教育大綱理念

### 誰一人取り残さない「こどもまんなか教育」の実現

- 「個」が活きる学びへ。  
そして、「教える」から「学ぶ」へ。
- 地域がまるごと「学びの場」。  
そして、「学び」を誰かの「喜び」に。

## 教育の目標

### 誰一人取り残さない「社会の創り手」を育てる教育

就学前の学びから社会教育へ。

河内長野市での学びがすべてつながり、未来の「社会の創り手」を育てていきます。

教育大綱の理念を具現化するため、学校教育と社会教育の融合を図ります。

そして、すべての市民が自ら主体性を発揮し、あらゆる他者と協働しながら、当事者意識を持った「社会の創り手」となるために、生涯にわたり学び続けられる「学びのまち」を創造していきます。

## 誰もが学べる「学びのまち」の創造

～ 学校教育と社会教育の連携から融合へ ～



# 誰一人取り残さない「社会の創り手」を育てる教育

誰もが学べる「学びのまち」の創造 ～ 学校教育と社会教育の連携から融合へ ～

## Action1

### ■誰もが安全・安心に学べる学校の環境整備

- ・安全に安心して学校生活を送ることのできる施設整備
- ・様々な教育課題に対応できる学校のあり方の研究
- ・地元産食材を使用した安心安全な学校給食の提供

## Action8

### ■多様な人々が関わり合いながら 学び・伝え・活かす歴史文化遺産

- ・調査・研究による魅力あるコンテンツ作り
- ・保存・継承とこれからの担う人づくりの強化
- ・各部署の施策と融合した活用の推進

## Action2

### ■「様々な他者との協働的な学び」と 「多様性を包摂する教育活動」の推進

- ・すべての子どもの人権と権利が保障された学校教育活動の推進
- ・学級、学年、学校の枠を超えたReal & Remote教育の推進
- ・不登校、日本語指導、特異な才能のある子ども等への対応

## めざす「市民の姿」

- ・対話と協働により、地域課題を解決しようとする市民
- ・自分の「好き」を追究し、学び続ける意欲を持つ市民
- ・ふるさとを誇りに思い、人や自然、文化財を大切にする市民

## Action7

### ■「市民が集い・学ぶ」図書館運営の充実

- ・市民がRealに集う空間の創出
- ・多様な市民に対応した課題解決に役立つ資料の充実
- ・市民がRemoteでアクセスする空間の創出
- ・図書館サービスを市民の居場所に届けるアウトリーチ活動の推進

## Action3

### ■就学前の学びから学校での学びが 一つにつながる教育

- ・かけ橋プログラムに基づく教育実践
- ・「めざす子ども像」を共有した小中一貫教育の推進
- ・中学校区合同での取組み推進と小中一貫教育推進校の実践の普及

## めざす「学校教育の姿」

- ・子どもが主体性を発揮しながら学ぶ学校教育
- ・子どもが様々な他者と協働しながら学ぶ学校教育
- ・子どもが「好き」を見つけて探究しながら学ぶ学校教育

## めざす「社会教育の姿」

- ・様々な人が集い、つながりの広がる社会教育
- ・自分の「好き」を選び、何度でも学べる社会教育
- ・学校にはない体験的な学びができる社会教育

## Action6

### ■「学び」が広がり「好き」が見つかる 学びの場の提供

- ・地域課題の解決や自身の学びを地域に還元する意欲ある人材の育成
- ・大人の「好き」が見つかる講座内容の充実
- ・小学校と公民館の複合化による効果を最大化する取組みの推進

## Action4

### ■「自分で考え、自分で決める」 「自分の好きを見つけて探究する」学校教育の推進

- ・子どもが自己決定しながら学ぶ授業への転換
- ・「伴走者」の意識を持った教員の育成
- ・教科学習における探究的な学びの推進
- ・一人ひとりの「好き」を課題にした探究活動
- ・ICT機器の有効活用学習の個性化、個別化の推進

## Action5

### ■「子どもの育ちを支える」家庭・地域の教育力の向上

- ・子どもの学びが広がる体験活動の充実
- ・学校運営協議会による学校教育活動への支援充実
- ・持続可能な社会教育関係団体の活動推進と在り方の検討
- ・地域の子どもと大人をつなげ相互に学び育む関係の構築推進

# 8つのAction及び施策（取組み）

次のページからは、策定した8つのActionごとに、令和8年度に実施する主な施策（取組み）を示します。

なお、施策（取組み）ごとに、「新規」、「充実」、「継続」のいずれかに分類します。

【新規】…新たに始める事業 または 継続事業だが単年度ごとに実施する事業。

【充実】…継続事業を、新たな事業を追加等して実施する事業。

【継続】…前年度以前と同内容で実施する事業。

子どもたちが安全で安心して、健やかに学ぶことができる教育環境を充実させるため、学校施設における教室等の学習スペースの安全・衛生・快適性を確保するとともに、子どもたちの学びの多様化にも対応できる教育環境を整えます。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

### 【 充実 】 美加の台施設一体型小中一貫教育推進校整備事業

947,600 教育総務課  
13,600

#### 【目的・内容】

学校の小規模化により、集団の中で学び合いの機会や社会性、協調性などを育む機会が少なくなる等の課題に対応するため、現在の美加の台中学校に美加の台小学校を移転させ、同一敷地内・同一校舎に小学校と中学校を併存させる施設一体型小中一貫教育推進校の整備を進める。

#### 【予算内訳】

- ・測量設計等委託料：33,657千円
- ・工事請負費：863,600千円
- ・工事監理費：16,843千円
- ・消耗品費：200千円
- ・申請手数料：1,600千円
- ・教室移転業務等委託料：6,860千円
- ・管理用備品：23,800千円
- ・修繕費：1,000千円
- ・通信費：40千円

(国・府支出金)学校施設環境改善交付金56,628千円(地方債)公共施設等適正管理推進事業債・学校教育施設等整備事業債771,500千円(一般財源)119,472千円

### 【 継続 】 トイレ整備事業

297,682 教育総務課  
199,983

#### 【目的・内容】

衛生的で良好な教育環境を確保するために、学校トイレの洋式化及び乾式化を図る。

#### 【予算内訳】

- ・測量設計等委託料：9,351千円
- ・小学校施設設備改善工事：193,930千円
- ・中学校施設設備改善工事：94,401千円

(国・府支出金)学校施設環境改善交付金50,758千円(地方債)防災・減災・国土強靱化緊急対策事業債・学校教育施設等整備事業債246,500千円(一般財源)424千円

### 【 新規 】 特別教室空調設備整備事業

0 教育総務課  
0

#### 【目的・内容】

児童生徒の健康と快適な学習環境を確保するために、空調設備が未設置の特別教室に対し整備を進めていく。 ※債務負担行為に基づき令和9年度に支払い

#### 【予算内訳】

- ・測量設計等委託料：22,900千円(債務負担行為)

### 【 充実 】 奨学金給付事業

22,400 教育総務課  
4,320

#### 【目的・内容】

経済的理由で進学・就学が困難な高等学校等の学生を支援するため、奨学金を大幅に増額し、1年生は年間80,000円を、2年生以上は年間40,000円給付する。

#### 【予算内訳】

- ・奨学金：(R8年度分)11,200千円(R9年度分)11,200千円
- (その他特定財源)奨学基金21,700千円・奨学基金運用収入700千円

【新規】 市立小中学校校務用携帯電話端末の導入 3,486 教育総務課  
0

【目的・内容】

学校から保護者へのスムーズな連絡を行ったり、校外学習等の学習活動における教員間の連絡体制を構築するため、学校規模に応じた台数の校務用携帯電話端末を導入する。

【予算内訳】

・通信運搬費: 3,486千円  
(一般財源) 3,486千円

【継続】 次期学校のあり方の方針の策定 198 教育総務課  
396

【目的・内容】

地域の教育力の活用や地域の特性に応じた、子どもたちにとってよりよい学校施設配置のあり方を検討する。

【予算内訳】

・委員報酬: 198千円

成長期にある児童生徒の心身の健全な発達のため、安全・安心で安定的な学校給食の提供に努めます。  
また、食育の推進という観点から、献立を通じて、旬の食材や地域の農作物、伝統的な食文化について学んだり、栄養教諭による出前授業により栄養バランスの重要性について自ら理解する力を育てます。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

### 【 充実 】 学校給食補助事業

278,474 学校教育課  
102,549

#### 【目的・内容】

令和8年度小学校給食費の完全無償化と中学校給食費の一部を市が負担（中学校全員給食実施後の令和9年1月～3月は無償化）するため、学校給食会へ補助金を交付する。

※小学校給食費の完全無償化については、国による給食費の抜本的な負担軽減施策に係る交付金を活用するが、食材費の不足分など市が独自に負担する費用については、重点支援臨時交付金を活用する。（令和7年度補正予算計上）

#### 【予算内訳】

##### 【R8当初予算】

学校給食会補助金:220,506千円

##### 【繰越明許費】

・学校給食会補助金:57,968千円

（国・府支出金）【R8当初予算】給食費負担軽減交付金220,506千円・【繰越明許費】重点支援臨時交付金34,039千円（一般財源）【繰越明許費】23,929千円

### 【 継続 】 新学校給食センターの整備運営

3,093,252 学校教育課  
1,789,182

#### 【目的・内容】

小学校に加えて中学校における全員給食を令和9年1月から実施するため、DBO方式（設計・施行・運営・維持管理一括発注方式）により、新たな学校給食センターの整備、運営等を行う。

#### 【予算内訳】

##### 【R8当初予算】

- ・新学校給食センター建設工事:2,404,265千円
- ・測量設計等委託料:41,800千円
- ・新学校給食センター建設等モニタリング支援業務委託料:3,713千円
- ・新学校給食センター整備運営事業CM業務委託料:14,213千円
- ・新学校給食センター運営業務委託料:77,709千円
- ・新学校給食センター開業準備業務委託料:46,400千円
- ・新学校給食センター運営等モニタリング支援業務委託料:880千円
- ・新学校給食センター維持管理業務委託料:6,872千円

##### 【繰越明許費】

・新学校給食センター建設工事:497,400千円

（地方債）【R8当初予算】学校給食施設整備事業債1,834,400千円・【繰越明許費】学校給食施設整備事業債373,000千円（特定財源）【R8当初予算】普通建設事業基金609,665千円・豊かな森林づくり基金2,000千円・【繰越明許費】普通建設事業基金124,400千円（一般財源）149,787千円

### 【 新規 】 新学校給食センターオープン記念「食育フェスタ」（カレーコンテストグランプリの決定）の開催

1,000 学校教育課  
0

#### 【目的・内容】

令和9年1月予定の新学校給食センターの開業や中学校全員給食の開始等について、市民等へ広く周知を図るとともに食育の推進に繋げるため、11月下旬に食育フェスタを実施する。また、カレーコンテストのグランプリ投票・決定を食育フェスタ内で行う。

#### 【予算内訳】

・食育フェスタ運営等支援業務委託料:1,000千円  
（特定財源）子ども教育支援振興基金 1,000千円

すべての子どもの人権と権利が保障された教育活動を基盤とし、多様な個性を尊重し合う学校づくりを推進します。

「ともに学び、ともに育つ」教育の充実を図り、合理的配慮の提供やユニバーサルデザインの視点を取り入れた授業改善に取り組み、一人ひとりの教育的ニーズに応じた学びを深めます。不登校への対応や日本語指導、特異な才能など、多様な背景や特性に応じたきめ細かな支援を行います。あわせて、リアルとリモートを効果的に組み合わせ、学級や学校の枠を超えた協働的な学びを展開することで、多様な他者と認め合い、共に未来を切り拓く力を育みます。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

<p><b>【 充実 】 支援教育推進事業（小）</b></p> <p>（医療・福祉・心理等の専門人材との連携による配慮の必要な児童生徒への支援（学校ハビリテーションの実施）事業含む）</p> <p><b>【目的・内容】</b> 小学校において、学習や生活に困り感を抱える児童を支援するため、支援員（介助支援員、発達支援員）や専門人材（作業療法士、言語聴覚士、理学療法士）、看護師を学校に配置する等、個々のニーズに応じた適切な教育環境を整備する。</p> <p><b>【予算内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・委員報酬：54,000千円</li> <li>・会計年度任用職員報酬：89,171千円</li> <li>・会計年度任用職員手当等：28,687千円</li> <li>・講師謝礼等：6,344千円</li> <li>・会計年度任用職員費用弁償：3,165千円</li> <li>・消耗品費：429千円</li> <li>・通信運搬費等：131千円</li> <li>・業務用備品：141千円</li> <li>・保護者交通費一部給付金：612千円</li> </ul> <p>（国・府支出金）教育支援体制整備事業補助金3,109千円、市町村医療的ケア体制整備推進事業補助金4,615千円（その他特定財源）子ども教育支援振興基金 5,293千円</p>	<p><b>128,734</b> 学校教育課</p> <p>113,121</p>
<p><b>【 継続 】 支援教育推進事業（中）</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 中学校において、学習や生活に困り感を抱える生徒を支援するため、支援員（介助支援員、発達支援員）や専門人材、看護師を学校に配置する等、個々のニーズに応じた適切な教育環境を整備する。</p> <p><b>【予算内訳】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・会計年度任用職員報酬：13,431千円</li> <li>・会計年度任用職員手当等：3,947千円</li> <li>・謝礼等：174千円</li> <li>・会計年度任用職員費用弁償：418千円</li> <li>・消耗品費：147千円</li> <li>・保護者交通費一部給付金：372千円</li> </ul> <p>（国・府支出金）市町村医療的ケア体制整備推進事業補助金12千円 （その他特定財源）子ども教育支援振興基金479千円</p>	<p><b>18,489</b> 学校教育課</p> <p>18,024</p>

<p><b>【 継続 】</b> 相談員等派遣・配置事業 (うち、外国籍等児童生徒等への日本語指導、生徒支援員、SSW)</p> <p><b>【目的・内容】</b> 不登校の子どもや日本語指導が必要な子ども等、一人ひとりの多様な状況や背景等にに応じた支援をおこなうための人材を配置する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・会計年度職員報酬費: 15,431千円(生徒支援員、SSW) ・会計年度職員手当等: 2,011千円(生徒支援員、SSW) ・謝礼: 540千円(外国籍等児童生徒等への日本語指導) ・会計年度任用職員費用弁償: 800千円(生徒支援員、SSW)</p> <p>(国・府支出金)市町村医療的ケア体制整備推進事業補助金12千円</p>	<p><b>18,117</b> 学校教育課</p> <p>27,586</p>
<p><b>【 充実 】</b> 不登校児童生徒支援事業</p> <p><b>【目的・内容】</b> 不登校に至る背景等が多様化・複雑化してきている現状を踏まえ、校内支援ルームや学びの多様化教室(ゆう☆ゆうスペース)の充実を図るとともに、支援人材や多様な学びの場を整備し、個々の状況に寄り添った学習支援や心のケアを行い、社会的自立の実現を支援する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・会計年度任用職員報酬: 15,072千円 ・会計年度任用職員手当等: 5,449千円 ・謝礼: 1,800千円 ・会計年度任用職員費用弁償: 336千円 ・消耗品費等: 1,803千円 ・通信運搬費等: 284千円 ・管理委託料: 456千円 ・機械建物等賃借料等: 19千円 ・通学費補助金: 50千円</p> <p>(国・府支出金)子どもの貧困緊急対策事業費補助金9,213千円 (その他特定財源)子ども教育支援振興基金900千円</p>	<p><b>25,269</b> 学校教育課</p> <p>16,306</p>
<p><b>【 継続 】</b> 人権教育推進事業</p> <p><b>【目的・内容】</b> 教職員が現代の多様な人権課題に対する正しい知識と指導力を習得し、学校現場において差別解消や人権意識の向上を図るための研修・研究に関する経費。教職員が市教育委員会から市人権教育研究会への助成金及び人権教育研究大会など外部研修への参加補助。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・講師謝礼: 100千円 ・職員旅費: 35千円 ・消耗品費等: 62千円 ・人権教育負担金: 368千円</p>	<p><b>565</b> 学校教育課</p> <p>1,278</p>
<p><b>【 充実 】</b> 生徒・進路指導充実事業(うち、学習支援事業)</p> <p><b>【目的・内容】</b> 家庭の事情等で学習環境に課題のある中学生を対象に、基礎学力の向上及び学習習慣の定着等を支援するために、民間事業者への委託により夏季休業期間中に全10回の学習支援事業を全中学校を対象に市内4か所で行う。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・学習支援事業委託料: 3,987千円 (国・府支出金)子どもの貧困緊急対策事業費補助金1,622千円(その他特定財源)子ども教育支援振興基金2,365千円</p>	<p><b>3,987</b> 学校教育課</p> <p>3,586</p>

「架け橋プログラム」の充実を図り、就学前から学齢期の学びの円滑な接続を図ります。また、義務教育9年間を見通した「めざす子ども像」を共有し、中学校区単位での小中合同研究授業や交流活動、相互乗り入れ授業等を推進し、小中一貫した指導体制を確立します。特に施設一体型小中一貫教育推進校では、その利点を最大限に生かした教育活動の研究を深めます。発達の段階に応じ、子どもの学びと育ちを途切れることなくつなぎます。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

【 充実 】 小中一貫教育推進事業（うち、小中一貫教育、架け橋プログラム） 15,075 学校教育課  
13,844

### 【目的・内容】

中1ギャップの解消や、学びの連続性を意識した教育活動を進めるため、小中学校教員の乗り入れ授業の実施等により校種間の円滑な接続をめざす取り組み対し、非常勤講師を配置する等、義務教育9年間を見通した指導体制を整備する。また、小学校において、幼児期の自発的な遊びを通じた学びを、各教科等における「主体的・対話的で深い学び」の実現につなげることができるよう、各校から選出されたプロジェクト委員が中心となって、幼児教育アドバイザーとの連携により、「架け橋プログラム」の開発に向けた研究を行う。

### 【予算内訳】

- ・会計年度任用職員報酬：12,627千円
- ・会計年度任用職員手当等：1,848千円
- ・消耗品費：550千円
- ・通信運搬費等：50千円

（国・府支出金）子どもの貧困緊急対策事業費補助金11,619千円

「学び」とは本来、子どもが一方的に知識を受容するものではなく、主体的・自律的な取り組みであるという認識に立ち、子どもが自ら問いを立て、自己決定しながら学ぶ授業への転換を推進します。教員は、子どもにすべてを委ねるのではなく、専門性を発揮し、一人ひとりの思考を深める適切な問いかけや学習環境の設計を行う「学びの伴走者」としての役割を担います。

各教科において個々の「好き」や関心を起点とした探究的な学びを充実させ、未知の課題に創造的に取り組む姿勢を育みます。また、ICT機器を有効に活用することで、学習の個性化・個別化を一層推進し、自律的な学びを支える最適な環境を構築します。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

<p><b>【 充実 】</b> 小中一貫教育推進事業 (うち、子どもの主体性が高まる教育実践研究事業)</p> <p><b>【目的・内容】</b> 子どもたちが主体的、自律的に学ぶ授業改善を進めるために、市内学校を研究校に指定して、子どもたちの主体性を育む教育実践の研究を実施する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・会計年度任用職員報酬:8,164千円 ・講師謝礼:450千円 ・会計年度任用職員費用弁償:792千円 ・職員旅費:350千円 ・消耗品費:300千円 ・役員費:1,576千円 ・備品購入費:250千円</p> <p>(国・府支出金)子どもの貧困緊急対策事業費補助金11,619千円</p>	<p><b>12,132</b> 学校教育課</p> <p>1,000</p>
<p><b>【 継続 】</b> 教育DX事業</p> <p><b>【目的・内容】</b> デジタル技術を活用して、子どもたち一人ひとりの学習課題にきめ細かく対応するために、全中学校にAIソフト「スタディサプリ」を配備し、個別最適な学習環境を整備する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・通信運搬費:6,396千円 (その他特定財源)子ども教育支援振興基金6,396千円</p>	<p><b>6,396</b> 学校教育課 <b>6,699</b> 教育総務課</p>
<p><b>【 継続 】</b> 教職員研修事業</p> <p><b>【目的・内容】</b> 教員の各キャリアステージ等に応じた体系的な研修を通じて、専門性を高め、学校の教育力の質的向上を図る。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・講師謝礼:895千円 ・消耗品費:15千円 ・教職員研修事業助成金:2,844千円</p>	<p><b>3,754</b> 学校教育課 <b>3,995</b></p>

【 継続 】 子ども教育支援センター事業

63,106 学校教育課

【目的・内容】

初任者から管理職まで各キャリアステージに応じた専門性の深化を図るため、子ども教育支援センターが核となり、研究授業の指導助言や研修講師、相談業務等を担い、教員の専門性や学校の教育力の向上を図る。

67,779

【予算内訳】

- ・会計年度任用職員報酬等: 14,108千円
- ・会計年度任用職員手当等: 4,315千円
- ・会計年度任用職員費用弁償: 447千円
- ・消耗品費: 30千円
- ・通信運搬費: 206千円
- ・子ども教育支援振興基金積立金: 44,000千円

学校運営協議会を核としたコミュニティ・スクールの運用を充実させ、学校・家庭・地域が目標を共有して子どもたちを育む体制を構築します。

また地域の人材や資源を活かした「ふるさと学」の取組みを通じて、郷土への誇りと愛着を育むとともに、多様な主体が参画する教育コミュニティづくりを推進し、地域全体で子どもたちの学びと成長を支えます。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

<p><b>【継続】 学校運営協議会事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 社会に開かれた教育課程の実現に向け、全小中学校に設置する学校運営協議会の機能を活かし、各学校の教育方針や課題解決に向けた教育活動の質的向上を図る。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・委員報酬：2,570千円 ・講師謝礼等：100千円 ・消耗品費：200千円 ・通信運搬費等：206千円 ・全国コミュニティスクール連絡協議会負担金：2千円</p>	<p><b>3,078</b> 学校教育課</p> <p>3,078</p>
<p><b>【継続】 地域学校協働活動推進事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 学校運営協議会での議論と効果的に連動させる等、保護者や地域の方が学校における教育活動や様々な活動に参加できる環境づくりを促進し、教育コミュニティづくりの推進を図る。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・謝礼：1,007千円 ・消耗品費：2,068千円</p> <p>(国・府支出金)教育コミュニティづくり推進事業費補助金：1,306千円</p>	<p><b>3,075</b> 学校教育課</p> <p>3,075</p>

地域の子どもと大人とがつながり、相互に学び、育む関係づくりを推進します。また、子どもたちが学校の外でも学びたいと思ったときに、地域の力を活用して学びの場を整え、健やかに育まれる仕組みづくりを推進します。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

<p><b>【継続】 青少年健全育成事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 青少年の健全育成を図るため、青少年指導員や青少年健全育成会をはじめ、青少年の健全育成に関わる市民や団体などと連携し、青少年の健全育成活動が円滑に行えるよう支援体制を整える。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・委員報酬：2,700千円 ・職員旅費：16千円 ・通信運搬費：10千円 ・手数料：10千円 ・保険料：2千円 ・青少年健全育成対策事業委託料：3,760千円  (一般財源)6,498千円</p>	<p><b>6,498</b> 社会教育第1課 6,488</p>
<p><b>【継続】 青少年社会参画推進事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 社会の一員として、主体的に地域課題を担う次代の人材育成を図るため、青少年が地域活動に参画できる支援体制を整える。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・委託料：480千円 (一般財源)480千円</p>	<p><b>480</b> 社会教育第1課 480</p>
<p><b>【継続】 子ども見守りパトロール事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 児童の安全を確保するため、市内13小学校の通学路を中心に青色回転灯付きパトロール車両による巡回を実施する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・需用費：462千円 ・役務費：36千円 ・使用料及び賃借料：13千円 (一般財源)511千円</p>	<p><b>511</b> 社会教育第1課 430</p>

**【 継続 】 放課後子ども教室事業**

**7,859** 社会教育第1課  
7,390

**【目的・内容】**

子どもたちの「生きる力」を育むため、放課後や週末、長期休暇期間における子どもの居場所として、地域の協力を得て、技術や知識とともに、ものの考え方や生活習慣などを学ぶ機会や英語での日常体験、科学体験教室の充実を図る。特に、大阪府企業プログラムの活用や地域の特色を活かしたプログラムを提供する。

**【予算内訳】**

- ・会計年度任用職員報酬:3,056千円
- ・会計年度任用職員手当等:1,143千円
- ・謝礼:70千円
- ・安全管理員等報償費:1,440千円
- ・会計年度任用職員費用弁償:204千円
- ・職員旅費:6千円
- ・消耗品費:450千円
- ・印刷製本費:100千円
- ・光熱水費:10千円
- ・保険料:180千円
- ・英語体験事業等委託料:1,200千円

(国・府支出金)大阪府教育コミュニティづくり推進費用費補助金522千円(一般財源)7,337千円

**【 継続 】 家庭教育・子育て支援事業**

**454** 社会教育第1課  
497

**【目的・内容】**

地域ぐるみで子育てをサポートする市民主体の活動を推進するため、各小中学校等の協力を得て、家庭教育支援講座の充実を図る。また、保護者や小中学生を対象とした「親楽習」講座を実施し、家庭における教育の重要性について理解が深まるよう、学習機会の提供を行う。

**【予算内訳】**

- ・報償費:440千円
- ・旅費:14千円

(国・府支出金)家庭教育支援事業費補助金226千円(一般財源)228千円

人生100年時代を迎え、誰もが生きがいを感じ、いきいきと創造的に暮らせる社会をつくるには、いつでも、どこでも、何度でも学び続けられる環境が必要です。公民館は、読書環境や情報の提供に努め、人生の各場面で生じる個人や社会の課題解決につながる学びの機会を保障します。

社会教育による学びを通じて「つながり」や「かかわり」を生み出し、学びの成果や喜びを循環させることで一人ひとりの豊かで幸せな人生を支え、持続可能な社会の創り手を育成します。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

### 【継続】 市民大学くろまる塾運営事業

550 社会教育第1課  
550

#### 【目的・内容】

市民が学びを通じて地域社会に貢献し、まちづくりへ参画する生涯学習社会のために、市民大学くろまる塾を通じて様々な講座等を実施する。  
また、その得られた知見を活かし、くろまる塾講座の充実と生涯学習の推進を図るため、博士号認定者をマイスターとして認定する。

#### 【予算内訳】

・講師謝礼：450千円  
・印刷製本費：100千円  
(一般財源)550千円

### 【継続】 市民交流センター管理運営事業

101,113 社会教育第1課  
9,341

#### 【目的・内容】

社会教育関係機能(図書館、青少年センター)と国際交流センター機能等を中心に、生涯学習の拠点的作用を担う市民交流センターが多くの市民にとって親しみやすい施設となるよう効率的・効果的な活用を図るために、引き続き施設の機能維持を図る。  
令和8年度においては、中央監視装置の更新、防犯カメラ設備の改修、特定天井の改修、トイレ温水洗浄便座の設置等を実施する。

#### 【予算内訳】

・修繕料：63,870千円  
・工事請負費：35,000千円  
・備品購入費：2,243千円  
(その他特定財源)公共施設維持改修基金64,416千円(国庫支出金)社会資本整備総合交付金11,666千円(地方債)公共事業等債21,000千円・緊急防災減災事業債1,000千円(一般財源)3,031千円

【 継続 】 公民館主催事業

900 社会教育第1課  
900

【目的・内容】

地域の学びの拠点として、社会教育を基盤とした人づくり・つながりづくり・地域づくりを進めるため、社会的課題に対応した主催講座を実施する。

【予算内訳】

・講師謝礼:900千円  
(一般財源)900千円

【 継続 】 小学校・公民館複合化事業

3,986 社会教育第1課  
5,150

【目的・内容】

小学校との複合化を進める加賀田公民館の環境整備を行うため、周辺里道水路改修や旧加賀田公民館の除却に伴うアスベスト含有調査等を実施する。

【予算内訳】

・修繕料:2,000千円  
・エレベータ保守点検業務委託料:300千円  
・アスベスト分析調査業務委託料:986千円  
・管理用備品:700千円

(地方債)一般単独事業債(石綿分)900千円・公共施設等適正管理推進事業債1,800千円(その他特定財源)普通建設基金286千円・生涯学習及び国際交流基金1,000千円

図書館は市民一人一人のニーズに対応できる情報拠点を目指し、いつでも、どこでも、何度でも学び続けられる環境を整備します。読書環境や資料情報の提供に努めることで、人生の各場面で生じる個人や社会の課題解決につながる学びの機会を保障します。

その実現に向けて、人々がリアルに集う場とリモートでアクセスできる読書環境を創出し、多様な課題解決に役立つ資料を充実させるとともに、市民の居場所へ図書館サービスを届けるアウトリーチ活動を推進します。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

<p><b>【継続】 課題解決型図書館に対応した資料整備事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 市民が直面する日常の課題の解決に資するため、市民のニーズや時代に即した多様な資料を充実し、資料を活用したサービスの提供に取り組む。</p> <p><b>【予算内訳】</b> 消耗品費：3,186千円 図書（業務用）購入費：16,615千円 （一般財源）19,801千円</p>	<p><b>19,801</b> 社会教育第2課 <b>21,588</b></p>
<p><b>【継続】 読書振興事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 多様な市民が読書に親しむことができるようにするため、「子ども読書活動推進計画」や「図書館事業計画」に基づき、関係各機関やボランティアと連携しながら図書館サービスの充実に努める。</p> <p><b>【予算内訳】</b> 講師謝礼：330千円 （その他特定財源）生涯学習及び国際交流基金140千円（一般財源）190千円</p>	<p><b>330</b> 社会教育第2課 <b>190</b></p>
<p><b>【継続】 対面朗読・音訳ボランティア養成事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 紙の書籍が利用しづらい視覚障がい者等にも不自由なく読書できる環境を整えるため、希望する書籍を朗読する「対面朗読」や耳で聴ける「録音図書」の製作を担うボランティアを養成する講座を開催する。平成13年度、24年度に行った講座の受講者を中心とするボランティアが高齢化等により減少したことから、令和8年度に実施する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・講師謝礼：140千円（再掲） （その他特定財源）生涯学習及び国際交流基金140千円</p>	<p><b>140</b> 社会教育第2課 <b>0</b></p>
<p><b>【充実】 電子図書館サービス推進事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 非来館型の図書館サービスの充実と、幅広い利用者の読書機会の拡大を図るため、オンラインでパソコン・スマートフォン等から利用できる電子書籍を充実させる。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・電子書籍等利用料：2,160千円 ・電子書籍システム利用料：792千円 （その他特定財源）生涯学習及び国際交流基金2,160千円（一般財源）792千円</p>	<p><b>2,952</b> 社会教育第2課 <b>2,660</b></p>

**【 継続 】 郷土資料デジタル化事業**

**728** 社会教育第2課  
728

**【目的・内容】**

市民の郷土歴史への関心を醸成し、郷土の歴史を後世に伝えるため、古絵図等のデジタル化及び古絵図等データベース搭載による公開を行う。

**【予算内訳】**

- ・クラウドサービス利用料:528千円
  - ・古絵図等撮影業務委託料:200千円
- (一般財源)728千円

**【 継続 】 英語資料整備事業**

**340** 社会教育第2課  
340

**【目的・内容】**

グローバル化の進む現代において欠かせない英語力向上のため、英語多読をはじめとした英語資料を整備するとともに、市民による活用を推進する。

**【予算内訳】**

- ・講師謝礼:40千円(再掲)
  - ・図書(業務用)購入費:300千円(再掲)
- (一般財源)340千円

**【 継続 】 図書館ネットワーク整備事業**

**10,799** 社会教育第2課  
11,170

**【目的・内容】**

図書館遠隔地に住む市民の読書や学習の機会を保障するため、公民館図書室・自動車文庫の図書整備や、自動車文庫の運行を維持・継続する。

**【予算内訳】**

- 図書館資料等集配送業務委託料:6,380千円
  - 自動車文庫車両運行業務委託料:2,145千円
  - 図書(業務用)購入費:2,274千円
- (一般財源)10,799千円

教育・観光・地域づくりの重要な資源となる歴史文化遺産について、調査・研究によってその価値を明らかにし、魅力ある学びのコンテンツ作りを行います。また、豊富な歴史文化遺産の保存・継承とこれらを担当する人づくりの取組を強化します。そして、各部署の施策と融合させ、社会的課題解決のため、多分野において活用を推進します。

## ■ 令和8年度の主な施策（取組み）

予算額（千円） 担当課  
下段は前年度予算

### 【継続】 埋蔵文化財・未指定文化財の調査の実施

440 社会教育第2課

#### 【目的・内容】

466

市内の歴史文化遺産を把握し、その価値を明らかにするため、開発事業や個人住宅の建設等に際して埋蔵文化財の発掘調査を実施したり、未指定文化財を調査して、必要に応じて保存措置を検討する。

#### 【予算内訳】

- ・消耗品費：15千円
  - ・埋蔵文化財発掘等業務委託料：264千円
  - ・埋蔵文化財発掘調査用機械掘削業務委託料：161千円
- （一般財源）440千円

### 【継続】 指定文化財保存修理事業

14,216 社会教育第2課

#### 【目的・内容】

21,149

郷土歴史学習や子ども文化財解説で活用する重要な教育資源であり、本市の主要な観光資源でもある指定文化財を将来にわたって保存・継承していくため、「文化財保存事業補助金交付要綱」に基づき、緊急性が高い修理・整備事業に対して補助金の交付を実施する。

#### 【予算内訳】

- ・国指定文化財保存修理事業補助金：11,426千円
  - ・府指定文化財保存修理事業補助金：2,790千円
- （その他特定財源）ふるさとづくり基金14,216千円

### 【継続】 歴史文化遺産の活用の推進

443 社会教育第2課

#### 【目的・内容】

513

第2次河内長野市文化財保存活用地域計画に基づき、市内の豊富な歴史文化遺産を伝え、活かし、社会的課題の解決のため、教育（学校教育・社会教育）・観光・地域づくり分野での歴史文化遺産の活用を推進する。

- ・教育分野：市内の小・中学校で実施する郷土歴史学習や子ども文化財解説、高等学校における探究学習への支援等で幅広く歴史文化遺産を活用し、ふるさと意識の高揚を図る。
- ・観光分野：3つの日本遺産を活用し、魅力の発信を行う。
- ・地域づくり分野：歴史文化遺産を活用した住民活動を推進する。

#### 【予算内訳】

- 謝礼：100千円
  - 職員旅費：200千円
  - 消耗品費：73千円
  - 通信運搬費：20千円
  - 全国史跡整備市町村協議会加盟市町村負担金：50千円
- （一般財源）443千円

<p><b>【 充実 】 河内長野版歳時記プロジェクト</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 本市で実施される祭礼・行事等の変容や減少、そして後継者育成といった地域の課題解決に寄与するため、特徴的な祭礼等を映像等資料として記録し、普及啓発や学習等に活用する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・謝礼:255千円 ・消耗品費:15千円 ・デジタルコンテンツ作成業務委託料:1,265千円 (その他特定財源)生涯学習及び国際交流基金1,265千円(一般財源)270千円</p>	<p><b>1,535</b> 社会教育第2課 920</p>
<p><b>【 継続 】 文化財特別公開事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 本市に所在する豊富な文化財を多様な人々と共有し、その価値や魅力を広く発信し、活用していくため、地域住民や小学校等と連携して、普段非公開のものを含めた地域の文化財の特別公開を実施する。令和4年度まで実施していた継続事業を、令和8年度から再開する。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・謝礼:20千円 ・消耗品費:20千円 ・印刷製本費:30千円 (一般財源)70千円</p>	<p><b>70</b> 社会教育第2課 0</p>
<p><b>【 新規 】 河内長野市史の編さん事業</b></p> <p><b>【目的・内容】</b> 広く市民が本市の歴史に関心を持ち、理解を深めることを目的として、平成17年度が最後の刊行となっている河内長野市史の編さんに取り組む。</p> <p><b>【予算内訳】</b> ・職員旅費:20千円 (一般財源)20千円</p>	<p><b>20</b> 社会教育第2課 0</p>